

一般質問通告書

第64回定例会

多可町議会議員 河崎 一 様

多可町議会議員 藤本 英三 

平成 27 年 6 月 3 日

受領

午前

午後

3 時 30 分

6

質問の項目及び要旨

答弁を求める者

1、河川の河床を整備すべきである。

町長

今年もいよいよ集中豪雨のシーズンが近づいて来ました。災害の原因は様々ですが、河川の河床状態も被害を起す一つの原因かも知れません。ひどい所では河川の中程に中洲ができ、そこに大きな樹木が生茂ったり、橋脚の下には土砂が堆積して橋脚と河床の高さがない所もあります。また合流地点では、支流の方に土砂の堆積が多くみられ、流れを悪くしていますので少し河床を下げるように整備をするべきである。

2、中学生に自転車保険加入助成制度導入を

教育長

この度兵庫県では、自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例が、この4月1日に施行され、自転車利用者に賠償責任保険の加入が義務化となりました。

この制度を更に推進するために、自転車通学の多い本町の中学生に自転車保険加入を義務付けるために、中学生を対象に自転車保険加入費用を一部助成制度を導入して推進すれば、保護者の方や家族の方も安心できると思いますが、教育委員会の見解をお尋ねいたします。

質 問 の 内 容

① 河川の河床を整備を

毎年と言っていいほど本町は夏から秋にかけて集中豪雨に見舞われ、特に杉原川・野間川やその支流では河川の決壊・崩壊や家屋・田畑への浸水等で、周辺住民は集中豪雨のたびに恐怖を感じておられます。

自然災害と言ってしまえばそれまでですが、人の手で災害も最小限で止めることも出来ます。河川の未整備も一つの原因と思われれます。

杉原川・野間川にしてもひどい所では、河川の中程や堤防の淵に中洲ができ樹木や笹が生茂って、流れを悪くしているのが被害を起し易くしているのがあります。

また橋脚の所で土砂の堆積で、河川の高さが極端に低くなっている所もありますし、合流地点では本流は流れに勢いがあるため、支流の方には土砂が堆積し易いので河床の整備が必要と思われれます。

河川の中程や堤防淵の中洲においては、中洲を取り除くと言えば中々経費がかかると思われるので、せめて樹木や笹ぐらひは伐採して取り除ければ、流れも景観も良くなるでしょう。

橋脚の下や、合流地点の土砂の堆積も目立つところは取り除くことは可能ではないかと思われれますがいかがでしょうか？町民の貴い命と財産を守るのも町長の責任ではないでしょうか？

②中学生に自転車保険加入助成制度

今年の4月1日より兵庫県では、自転車の安全で適正な利用に関する条例が、施行されました。併せて自転車利用者に賠償責任保険の加入が義務化となりました。

本町の中学生からは自転車通学者が大半を占めます。血気盛んな少年・少女の年頃の時代ですし、登校時の気ぜわしい時や、夕暮れ時の帰宅は交通事故に遭遇し易いのと、いつ何時事故に遭遇するか分かりませんし、保険は守り神ですので、自転車保険に加入すべきと思います。そのことによって保護者の方・家族の方も安心されると思います。

そこで本町の全中学生に自転車保険加入を義務化のために、自転車保険掛け金の一部助成する制度を導入する考えはないでしょうか？

北播地域の2・3の自治体はすでに導入の方向進んでいるようですが、教育委員会としての見解をお尋ねいたします。